

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和6年1月～3月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年1～3月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				前期（令和5年10～12月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				今期（令和6年1～3月）と比べた 来期（令和6年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	41.7	26.7	31.7	10.0	20.0	28.3	51.7	△ 31.7	35.6	44.1	20.3	15.3
2 採算	17.9	46.4	35.7	△ 17.9	15.8	47.4	36.8	△ 21.1	28.6	53.6	17.9	10.7
3 仕入単価	69.0	27.6	3.4	65.5	62.1	32.8	5.2	56.9	54.4	42.1	3.5	50.9
4 従業員数					15.1	79.2	5.7	9.4	9.4	86.8	3.8	5.7
5 資金繰り					11.1	70.4	18.5	△ 7.4	17.0	67.9	15.1	1.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		23.7	44.1	32.2		-8.5		32.2	45.8		20.3	11.9		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	38.7	4.8	4.8	48.4	8 設備店舗の狭小・老朽化	6.5	4.8	12.9	24.2
2 大企業進出による競争激化	3.2	3.2	4.8	11.3	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	4.8	4.8
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	3.2	1.6	4.8	9.7
4 原材料高及び不足	19.4	25.8	11.3	56.5	11 需要の停滞	6.5	19.4	4.8	30.6
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	3.2	0.0	3.2	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	3.2	6.5	9.7
6 人手不足	4.8	6.5	9.7	21.0	13 その他	4.8	0.0	1.6	6.5
7 人件費の増加	3.2	9.7	8.1	21.0	無回答	9.7	17.7	25.8	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《製造業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年1～3月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				前期（令和5年10～12月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				今期（令和6年1～3月）と比べた 来期（令和6年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	22.2	11.1	66.7	△ 44.4	33.3	22.2	44.4	△ 11.1	44.4	33.3	22.2	22.2
2 採算	12.5	12.5	75.0	△ 62.5	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	62.5	25.0	12.5	50.0
3 仕入単価	75.0	12.5	12.5	62.5	62.5	25.0	12.5	50.0	37.5	50.0	12.5	25.0
4 従業員数					14.3	71.4	14.3	0.0	14.3	85.7	0.0	14.3
5 資金繰り					28.6	71.4	0.0	28.6	42.9	57.1	0.0	42.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.2	44.4	33.3		△ 11.1		25.0	50.0		25.0	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	33.3	0.0	11.1	44.4	8 設備店舗の狭小・老朽化	11.1	11.1	22.2	44.4
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	11.1	11.1
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	11.1	0.0	0.0	11.1
4 原材料高及び不足	11.1	33.3	0.0	44.4	11 需要の停滞	11.1	11.1	11.1	33.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	11.1	0.0	11.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	11.1	11.1
6 人手不足	11.1	0.0	11.1	22.2	13 その他	11.1	0.0	11.1	22.2
7 人件費の増加	0.0	33.3	11.1	44.4	無回答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 国内すべてのタイヤメーカーが生産量減。生産量増は7月以降の見通し。（その他のゴム製品製造業）
- ・ 円安により不況。（空調・住宅関連機器製造業）
- ・ 既存顧客からのレポートの印刷物は減少傾向が止まらず、毎月5%～10%減少。（印刷業）
- ・ 売上はコロナ前に戻っている。今後さらなる値上げがあると思うので、値頃感のある商品開発が必要になる。（めん類製造業）

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年1～3月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				前期（令和5年10～12月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				今期（令和6年1～3月）と比べた 来期（令和6年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	12.5	37.5	50.0	△ 37.5
2 採算	12.5	37.5	50.0	△ 37.5	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	25.0	25.0	50.0	△ 25.0
3 仕入単価	75.0	25.0	0.0	75.0	75.0	25.0	0.0	75.0	37.5	62.5	0.0	37.5
4 従業員数	/	/	/	/	14.3	71.4	14.3	0.0	14.3	85.7	0.0	14.3
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	71.4	28.6	△ 28.6	0.0	71.4	28.6	△ 28.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		14.3	42.9	42.9		△ 28.6		42.9	28.6		28.6	14.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	62.5	12.5	0.0	75.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	12.5	0.0	12.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	12.5	12.5
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	25.0	25.0	25.0	75.0	11 需要の停滞	0.0	12.5	12.5	25.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	0.0	25.0	25.0	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	12.5	0.0	12.5	無回答	12.5	25.0	25.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ コロナ融資の返済負担や物価高騰による利益率ダウン等、経営に影響が出始めている。（一般土木建築工事業）
- ・ 週休2日になっているが、受注物件に労務単価が反映されていない。その分会社が補填することになり経営が厳しい。（土木工事業）
- ・ 下請けの職人はインボイス登録していない方が多く負担がある。（一般土木建築工事業）
- ・ 瓦業界はどん底に近い状況。他業種への参入。（土木・屋根工事業）
- ・ 電気通信業（ケーブルテレビ）に重きを置いて売上を確保してきたが、減少傾向のため電気業など幅広く営業を検討中。（電気通信工事業）

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年1～3月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				前期（令和5年10～12月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				今期（令和6年1～3月）と比べた 来期（令和6年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	47.1	23.5	29.4	17.6	17.6	29.4	52.9	△ 35.3	37.5	43.8	18.8	18.8
2 採 算	17.6	58.8	23.5	△ 5.9	11.8	58.8	29.4	△ 17.6	25.0	62.5	12.5	12.5
3 仕 入 単 価	70.6	29.4	0.0	70.6	47.1	41.2	11.8	35.3	56.3	37.5	6.3	50.0
4 従 業 員 数					18.8	75.0	6.3	12.5	12.5	81.3	6.3	6.3
5 資 金 繰 り					6.3	81.3	12.5	△ 6.3	13.3	80.0	6.7	6.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		23.5	35.3	41.2		-17.6		29.4	58.8		11.8	17.6		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	31.6	5.3	0.0	36.8	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	10.5	5.3	5.3	21.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	5.3	10.5	15.8	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	5.3	5.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	15.8	15.8
4 原 材 料 高 及 び 不 足	21.1	21.1	5.3	47.4	11 需 要 の 停 滞	10.5	10.5	5.3	26.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	5.3	0.0	5.3	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	10.5	10.5
6 人 手 不 足	0.0	15.8	5.3	21.1	13 そ の 他	5.3	0.0	0.0	5.3
7 人 件 費 の 増 加	10.5	10.5	5.3	26.3	無 回 答	10.5	21.1	31.6	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 企業イメージの醸成にユニフォームの更新が増えている。別注品が増え、既製品の種類は減少傾向にある。（その他の織物・衣服・身の回り品小売業）
- ・ コロナによる買い控えの影響が続く。物価高騰によりさらに悪化。得意先が高齢のため、施設に行ったり死亡したりと顧客減。（呉服・服地小売業）
- ・ 原材料が高くなっており、利益が低い。（パン・菓子製造業）
- ・ 今年に入っても原材料高で商品の価格が毎月の様子上がり、価格が安定せず、卸価格を常に把握していないと赤字になる状況。（電気機械器具小売業）
- ・ 近くに大型店が出店したため、売上が減少。（コンビニエンスストア）

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年1～3月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				前期（令和5年10～12月）と比べた 今期（令和6年1～3月）の状況				今期（令和6年1～3月）と比べた 来期（令和6年4～6月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	35.7	35.7	28.6	7.1	7.1	35.7	57.1	△ 50.0	35.7	64.3	0.0	35.7
2 採算	25.0	50.0	25.0	0.0	8.3	58.3	33.3	△ 25.0	25.0	75.0	0.0	25.0
3 仕入単価	53.8	46.2	0.0	53.8	53.8	46.2	0.0	53.8	46.2	53.8	0.0	46.2
4 従業員数	/	/	/	/	7.7	92.3	0.0	7.7	7.7	84.6	7.7	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	7.7	69.2	23.1	△ 15.4	7.7	76.9	15.4	△ 7.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		14.3	64.3	21.4		-7.1		35.7	42.9		21.4	14.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	42.9	0.0	0.0	42.9	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	7.1	21.4	28.6
2 大企業進出による競争激化	14.3	0.0	7.1	21.4	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	7.1	0.0	0.0	7.1
4 原材料高及び不足	14.3	14.3	7.1	35.7	11 需要の停滞	0.0	35.7	0.0	35.7
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	14.3	7.1	21.4
6 人手不足	0.0	0.0	7.1	7.1	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	0.0	7.1	7.1	無回答	21.4	28.6	42.9	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 物価高の影響で来店期間が延びたり、白髪染めを自分でする人が増えた。近隣には全国展開の店舗がOPENし、当店の常連客で物価高から生活費をおさえたいというニーズを持っている人がいれば、流出する可能性があるかと懸念している。（美容業）
- ・ 海外旅行に行く人が増えて、国内旅行のニーズが減った。海外から来るお客様に向けたアプローチを考えている。（旅館・ホテル業）
- ・ 円安により、輸出が増え国内供給が減ったため納期が長くなり、売り上げが立たない（自動車整備業）

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期 (令和5年1~3月) と比べた 今期 (令和6年1~3月) の状況				前期 (令和5年10~12月) と比べた 今期 (令和6年1~3月) の状況				今期 (令和6年1~3月) と比べた 来期 (令和6年4~6月) の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	66.7	16.7	16.7	50.0	25.0	16.7	58.3	△ 33.3	41.7	33.3	25.0	16.7
2 採 算	18.2	54.5	27.3	△ 9.1	16.7	33.3	50.0	△ 33.3	16.7	58.3	25.0	△ 8.3
3 仕 入 単 価	75.0	16.7	8.3	66.7	83.3	16.7	0.0	83.3	83.3	16.7	0.0	83.3
4 従 業 員 数					20.0	80.0	0.0	20.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り					18.2	54.5	27.3	△ 9.1	27.3	45.5	27.3	0.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		41.7	33.3	25.0		16.7		33.3	41.7		25.0	8.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	33.3	8.3	16.7	58.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	8.3	0.0	16.7	25.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	25.0	41.7	25.0	91.7	11 需 要 の 停 滞	8.3	25.0	0.0	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	16.7	8.3	8.3	33.3	13 そ の 他	8.3	0.0	0.0	8.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	16.7	16.7	無 回 答	0.0	8.3	16.7	—

注) 「全体」 = (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 高くなったものもあるが、仕入先変更したりしている。仕入値が上がりっぱなしのものは上げるしかないので、価格を見直す。(一般飲食店)
- ・ 今まであった会食が戻らない。年配者、医療関係者、法事などの集まりが無くなった。(一般飲食店)
- ・ コロナ収束で出足は増えている様だが、家飲み慣れてしまっているお客様も多く感じる。飲み放題で営業しているので、アルコールの物価上昇は厳しい。(スナック)
- ・ 値上げをしても、原材料や経費が上昇して追いついていない。利益を十分に確保できない。(喫茶店)